

第3クールSeason2

WebサービスAPI勉強会

「JavaScriptライブラリワーク(jQuery等)」

0

準備事項(前日までに行っていた きたいこと)

Season1参加者に関してはすでに楽天デベロッパーID、楽天アフィリエイトIDを取得済みなのでこのページは無視していただいて構いません。Season2から参加の方はオリエンテーションテキストも御覧ください。

今回の勉強会では楽天ウェブサービスを使います。楽天ウェブサービスとは楽天のAPIを提供するシステムの総称です。開発者は無料で使うことができます。

▽楽天ウェブサービス

<http://webservice.rakuten.co.jp/>

楽天ウェブサービスを使うには楽天市場に会員登録が必要です。また、楽天ウェブサービスを初めてお使いの方は楽天ウェブサービスのページで、登録する必要があります。

APIを使用するにあたって、下記二つの項目が必要です。これらはリクエストURLのパラメータとして使います。

- ・デベロッパーID
- ・アフィリエイトID

なお、現在デベロッパーIDの確認には文字入力とメール認証の二つが必要になっており、10分ぐらいかかるので事前に準備しておくことが望ましいです。そして忘れないようにするためにもきちんと書き留めておくことが大切です。

ワーク

①自分の楽天デベロッパーIDと楽天アフィリエイトIDをテキストエディタなどでコピペでメモって保存しておきましょう。(いつでも参照できるように)。

②時間のある時で良いので規約を必ず読んでおきましょう。

▽楽天ウェブサービス規約

<http://webservice.rakuten.co.jp/rule/>

③クレジット表示についても読んでおきましょう

▽クレジット表示

<http://webservice.rakuten.co.jp/credit/>

楽天会員サービス [ログアウト](#)

ようこそ、脇村隆さん
(本人ではない場合は[こちら](#))

アカウント情報

- ・ [デベロッパーIDの確認](#)
- ・ [アフィリエイトIDの確認](#)

ご利用方法

楽天ウェブサービスはどなたでも利用できます！

1. [デベロッパーIDを取得](#)
2. [ドキュメントを参照](#)
3. [アプリケーションを開発](#)

1

Season2のゴールは？

Season1ではJavascriptを使ってAPIからデータを取得し、それをブラウザに表示する『最低限』のことだけを勉強しました。その後今日までの間にカスタマイズしたり、繰り返し練習するなどして、Javascriptの感覚に慣れていただいていることでしょう。

Season2ではちまたで言われる「Ajax」を含めて見せ方を良くしていくことに注力していきます。その中で便利なライブラリと言われる「jQuery」というものを使用します。

これを使用することにより短期間で効果的なサイト作りに一歩近づくことが出来るのです。

こういったAjaxやライブラリの考え方を採用し表現力を広げているサイトは世の中では主流になってきました。カッコよく見せるだけではなくユーザビリティを向上させ、コンバージョン率(購買率)を向上させることにも繋がります。

大手ポータルやフーやAmazonなどのサイトでも活用されているような表現を自分のサイトにも表現していきませんか。

注・Season1のテキストでAjaxは第4クールとしましたが、カリキュラムを組み直し、Season2で組み込むこととしました。

ワーク

①Season2から初参加の方でも最低限Season1のテキストを一通りさらっと読んでおいて何をやってきたか把握しておいてください。参加された方は一通り復習しておくことで学習効果が高まります。

①事前にテキストの全体の見出しだけでも見て、全体像を把握しておきましょう。出来れば、完璧に理解できなくとも読んでおくことで当日のわからないところが明確に出来ます。
(今後の勉強会でも共通です)

②今日の勉強会が終わったらやることを決めてここにメモしておく。
例:復習、自分の好みの色のパーツを作る・・・等

memo

2

商品検索結果表示の復習

Season1で実施した楽天市場商品検索APIを利用し、商品検索結果を再度表示させてみましょう。

まず、XAMPPを起動し、Apacheをスタートさせます(今回のようなJascriptのみの場合は省略できますが、今後の開発の練習のためにやっておきましょう)。

次にhtdocs以下に今回のサンプルファイルseason2フォルダごとに入れてください。season2フォルダの下にはtemplate、tools、workフォルダが入っています。テンプレートファイルをtemplateフォルダからコピーしてworkフォルダに入れて、ここで自分仕様にカスタマイズして、作業を進めます。

1. 楽天デベロッパID、アフィリエイトIDの記入

2. リクエストURLの組み立て

すでに組み立ててあるが、パラメータの変更や追加などご自由に

3. コールバック関数についての復習

※日本語キーワードはURLエンコードが必要。URLエンコードツールを使って変化したものをパラメータとして使うこと (toolsに入っています)。

<http://monetize-tools.net/urlencodetool/urlencode.html>

ワーク

①リクエストURLのパラメータを修正し、自分の好きなキーワードでの商品結果にする。

デフォルトでは「エコポイント」になっています。

※今回の勉強会の性質上、楽天市場で50件以上、ヒットする検索キーワードにしてください。

▽楽天市場

<http://www.rakuten.co.jp/>

②表示されたリンク(画像)をクリックして、適切なページへジャンプしているか確認する。

③余裕がある方はまわりの方、特に初めていらっしゃる方をフォローしてください。

(教えることも勉強です)

確認URL

<http://localhost/season2/work/search.html>

3

エスケープとは？

前回のSeason1のソースに登場していましたが、説明していない表記の仕方について解説します。

document.writeでHTMLタグを含めた文字を出力する場合、

```
document.write("<strong>強く</strong>");
```

といった感じで表記しますが、HTMLタグの属性を指定する場合、つまり、

```
<font color="#FF0000">赤く</font>
```

をJavaScriptで表示しようとした場合、下記のような表記で不具合を起こします。

```
document.write("<font color=#FF0000>赤く</font>");
```

これは属性を指定しているダブルクォートがJavaScriptの文字列の終端のダブルクォートと誤解釈されてしまい、バグが発生します。

それを防ぐためにHTMLの文字列の中にJavaScriptで解釈する特殊記号が含まれている場合はその文字の直前に「¥」（半角）を表記する必要があります。

また。出力する内容に「\n」（Mac）とか「¥n」（Windows）というものがありますが、これはHTMLソースでの改行を意味します。

ワーク

①次のHTMLタグをJavascriptで書きだしてみてください。

```
<p><font color="#FF0000">お買い得商品</font></p>
```

※「お買い得商品」のところは好きな文字列にしてみてください。

callback関数内の下記場所に入れて実際に表示してみましょう。

```
//引数から受け取ったAPIデータを商品データがある階層まで下って、商品情報だけ格納
```

```
items = jsonpdata.Body.ItemSearch.Items.Item;
```

ココ。すなわち商品を繰り返して取り出して表示するところの前。

```
//商品の数だけ繰り返し
```

```
for(var i in items){
```

確認URL

<http://localhost/season2/work/search.html>

4

document.writeで出力する テンプレートカスタマイズTips

前回のSeason1で商品検索結果に出力する項目を追加するのに苦勞された方も多いと思います。それはたった一行で位置商品分の情報を出力するようにしたためです。

```
//商品画像を一個ずつ取り出しながら、それぞれの情報を表示
document.write(items[i].itemName + "<br/>¥n" + items[i].
itemPrice + "円<br/>¥n" + "<a href=¥\"" + items[i].affiliateUrl
+ "¥">" + "<img src=¥\"" + items[i].mediumImageUrl +
"¥"><¥/a><br/><br/>");
```

これだと可視性がよく有りません。

改めて文法を解説するとdocument.writeの括弧内にあるものをブラウザに出力するという部分です。「+」記号は結合、すなわち、文字列をつなげる役目をしています

すなわち、すべての要素を一行で表すのではなく複数行にわたって書く下記のとおりになります。

```
document.write(items[i].itemName + "<br/>¥n");
document.write(items[i].itemPrice + "円<br/>¥n");
document.write("<a href=¥\"" + items[i].affiliateUrl + "¥">");
document.write("<img src=¥\"" + items[i].mediumImageUrl
+ "\"><¥/a><br/><br/>");
```

ワーク

- ①左記該当部分をコピペで書き換えて見ましょう。
(コピペ用テキストを用意しています)

商品情報のパーツ単位になるとレイアウトも装飾もやりやすくなります。まだ見慣れないJavascriptのコードですが、少しずつ見やすくなるように、自分から気をつけて、書き換えてみてカスタマイズを勧めてみましょう。

確認URL

<http://localhost/season2/work/search.html>

5

商品の価格を赤くしてみる

前回のようにJavascriptで出力する文字、HTMLを見やすくすると、装飾なども簡単になります。

例えば、商品の価格を赤くしようと思えば、

```
document.write(items[i].itemPrice + "円<br/>¥n");
```

の前後にdivタグなどで囲ってstyle=・・・などで赤く修飾すれば良いのです(今回はfontタグではなくて、divタグを使ってスタイルシートで色を変えてみます)。

```
document.write("<div style=¥\"color:#ff0000;¥\">¥n");  
document.write(items[i].itemPrice + "円<br/>¥n");  
document.write("</div>¥n");
```

この時もエスケープのページでもご案内した通り「¥」でダブルクォート記号をエスケープ(Javascriptが特殊記号として認識させないように)します

ワーク

- ①商品価格を赤くする
- ②好みがある人は商品価格をその色にする(ややオレンジなど)
- ③興味がある人は太字にしてみる

ほとんどスタイルシートの練習みたいなものですが、スタイルシート辞典などを頼りにカスタマイズしてみてください。

▽スタイルシートリファレンス(目的別)

<http://www.htmq.com/style/index.shtml>

▽スタイルシートを勉強していくのにおすすめ

CSSレイアウト実践講座:(うかさん)

<http://css.uka-p.com/>

確認URL

<http://localhost/season2/work/search.html>

6

jQueryをはじめよう!

それでは、今回のテーマであるjQueryについてはじめます。

通常、cssやhtml、JavaScriptなどの熟達者が挑戦するイメージが強いのですが、前回の最低限のJavaScriptの知識でAPIまで到達したように、最低限のjQueryの知識で、Ajaxや表現力を増すワザについて勉強していきましょう。

まず、jQueryを習得すると何がハッピーなのか知っておきましょう。それは「JavaScriptだけでやろうとしたら手続きがたくさんあるが、jQueryなら比較的簡単に、短いソースで実現できる」ということです。

もちろん、最低限のJavaScriptの知識は必要ですが、それを使いこなせなくてもjQueryで凝ったことが比較的簡単にできます。つまりそれを学習するコストも低いということです。

現在、jQueryはライブラリの中にある著作権表示を消さなければ、商用・非商用を問わずに誰でも自由に利用することができます。著作権表示はライブラリ内なので、よくあるテンプレートのように画面に表示する必要はありません。

ワーク

①jQuery関連ページのブックマークをしておきましょう

▽jQuery(本サイト)

<http://jquery.com/>

▽Google Libraries API

<http://code.google.com/intl/ja/apis/libraries/>

ブログパーツのようにscriptタグを書いて、googleのサーバから直接jQueryのライブラリを使えるようにします。

▽はじめてのjQuery(スライド)

http://higashizm.sakura.ne.jp/jquery_first/

読むでイメージをつかんでおく(が、今回の勉強会はこれよりさらにゆるく進めます)

▽webデザイナーのためのjQueryベストプラグイン&チュートリアル
10個

<http://e0166.blog89.fc2.com/blog-entry-742.html>

▽WebデザインにjQueryを使いたい人向けの動画チュートリアル
サイト・jQuery for Designers

<http://kachibito.net/web-design/jquery-for-designers.html>

▽jQuery UI

<http://jqueryui.com/>

7

jQueryのライブラリを読み込む

本来であればダウンロード&自分のサイトにアップしてHTMLでそれを読み込む設定をします。

しかし、Googleでホスティングしているものが利用できるのものでそれを利用します。デメリットはGoogle依存になってしまいますが、下記メリットがあります。

Google人気JavaScriptライブラリ配布開始、ネット全体でキャッシュ効果 | エンタープライズ | マイコミジャーナル:より引用:
<http://journal.mycom.co.jp/news/2008/06/03/020/index.html>

- * Google CDNを活用したファイルの配布
- * 対応していればGzip圧縮転送を有効にする
- * ダウンロードするファイルは可能なかぎり最小化されたものとなる
- * キャッシュが有効になるように工夫されており、一度どこかでダウンロードしてあればキャッシュが使えるため不要なダウンロードしなくなる
- * バージョン番号にワイルドカードが指定できるため自動的にマイナーアップデートを実施できる

▽Google Libraries API

<http://code.google.com/intl/ja/apis/libraries/>

ワーク

①下記のscriptタグを挿入します。

```
<script type="text/javascript" src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.4.3/jquery.min.js"></script>
```

```
<script src="http://html5shiv.googlecode.com/svn/trunk/html5.js"></script>
```

のあたりに入れるのが良いでしょう。

(これもgoogleのコードを使用しています。IEでもHTML5のタグを認識させて画面を崩れさせないためのJavaScriptです。)

この時点では何も変化が起こりません。

確認URL

<http://localhost/season2/work/searchhtml>

8

jQueryでアニメーション表示

jQueryを使うことによってアニメーション効果やAjaxなどの処理を組み込みやすくなります。試しに現在の商品検索結果表示にjQueryの命令文の書き方を覚えながら組み込んでみましょう。

書き方基本形(jQueryライブラリを読み込んだ後に記述) :

```
<script type="text/javascript">  
$(function(){  
    $("セクター").jQueryの命令;  
});  
</script>
```

通常、プログラミング言語は上から順番に実行されますが、「\$(function(){ });」で括弧することにより、HTMLを読み終えた後に実行されます。これはready関数の機能ですが、上記の表記はその省略形になります。

セクターはHTML文中の表示する場所の指定、変更する場所の指定をタグの名前やid,classなどCSSの名前で指定します。

それでは、商品検索結果をアニメーション表示してみましょう。

例えば、フェードインさせるためにはスタイルシートで一旦画像を非表示にし、下記のjQuery命令文を一行入れるだけです。

```
$("#img:not(:animated)").fadeIn("slow");
```

ワーク

①jQueryライブラリを読み込んでいる行の後に下記タグを入力してください。

(コピペテキストからコピペしてください)

②表示速度を変えてみましょう

速度は、“slow”、“normal”、“fast”、もしくは完了までの時間をミリ秒単位で指定します。例えば”2000”であれば、2秒かけてアニメーションが行われます。

省略された場合は、“normal”が用いられます。

7秒ぐらいでもやっと思します。

参考:fadeIn([speed], [callback]) - jQuery 日本語リファレンス

<http://semooh.jp/jquery/api/effects/fadeIn/%5Bspeed%5D,%5Bcallback%5D/>

■not(:animated)とは？

アニメーションしていない様子だけに絞り込んで実行します。複数のアニメーションを動かしている時などに使います。

確認URL

<http://localhost/season2/work/searchhtml>

9

クリックしたらフェードアウト

先程のページでフェードイン表示を行いました。次は、クリックしたらフェードアウトしてみます。

PHPなどサーバサイドのプログラミング言語と違い、JavaScriptはブラウザ上で動き、ブラウザ上の表示内容や動作を制御することが出来ます。またユーザのアクションや時間軸によっても動作を制御することが出来ます。

ユーザからのアクションで最も多いものとして「クリック」が挙げられます。今回はクリックという”イベント”が発生したら、動くプログラムを書いてみたいと思います。

まずクリックさせるためにCSSのclass要素を仕込みます。

```
document.write(items[j].itemName + "<br/>¥n");
```

を

```
document.write("<div class=¥\"item¥\">"+items[j].itemName  
+ "</div><br/>¥n");
```

に変更。そしてjQueryの先程の関数の中に下記項目を追記します。

```
$(".item").click(function(){  
    $(".img:not(:animated)").fadeOut("slow");  
});
```

これでclass要素で指定したものがクリックされたら、img要素がフェードアウトされます。

ワーク

①前のページのワークで挿入した

```
$("#img:not(:animated)").fadeOut("slow");
```

部分の後に

```
$(".item").click(function(){  
    $("#img:not(:animated)").fadeOut("slow");  
});
```

を挿入して、動作を確認してください。

②余裕があったら、フェードアウトしていく速度を調整してみましよう。

(素早く消える、ゆっくり消える・・・等)

確認URL

<http://localhost/season2/work/searchhtml>

10

Ajaxをはじめてみよう!

jQueryならAjaxもカンタンです。

AjaxとはJavascriptの技術を中心に、ページを遷移せずにWebサーバとデータをやり取りすることです。特にAPIと通信することでよく使われる技術です。ページを遷移しないことにより、ユーザはページの前後を意識せずに商品検索したり、絞り込んだりすることが出来ます。

では、カンタンにAjaxを体験してみましょう。

まずページが表示されて、ユーザがクリックしたら、外部のサーバに接続し、データをダウンロードする想定で考えます。例として、指定された文字列をクリックしたら、指定した場所にリンクシェアトップページのとある部分を表示するというをやってみましょう。

HTMLのbody直後に下記タグを入れましょう。

```
<div id="clickarea">ここをクリック!</div>
```

```
<div id="contentarea"></div>
```

次に、jQueryでid="clickarea"部分をクリックしたらページをid="contentarea"で指定された部分に出力するように書き加えます。

```
$("#clickarea").click(function(){  
    $("#contentarea").load("ajaxinclude.html div");  
});
```

注・これは勉強用です。コンテンツの著作権にはご注意ください。

ワーク

①("ajaxinclude.html div")を("ajaxinclude.html p")と書き換えて表示の変化を確認してみましょう。

②ajaxinclude.htmlの中身を変更してみて、動作を確認してみましょう。

③スタイルシート等わかる方は、ajaxinclude.html側にidやclassを割り振り、それに対して表示を確認してみましょう。

div.class

p#id

■今までPHPでAPIと通信してやってこられた方はPHPでパーツをつくってここで言うAjaxで呼び出す形にすると効果的なサイトが作りやすくなります。慣れたPHPでAPI通信や複雑な処理をして、jQueryのAjaxでユーザの動作に合わせてPHPにリクエストさせる、といった使い方ができます。

確認URL

<http://localhost/season2/work/searchhtml>

11

1 時間目のまとめ

1 時間目はSeason 1 の復習、JavaScript の文法について少し学んだ上で、jQuery というライブラリに手を出し始めました。

通常 JavaScript 初心者でも手が出しにくい Ajax についても触れています。普通のプログラミングの学習の過程ではあり得ないことです。しかし、それはこういったライブラリを利用することに寄って、敷居を下げて乗り越えやすくなっています。

「ライブラリ」はあらゆる JavaScript エンジニアが様々な複雑な処理をカンタンな記述で処理できる「部品」として公開しています。私たちはそれを利用して、スマート且つスピーディーにプログラムを組んだり習得したり出来ます。もしかすると JavaScript だけで全部作るよりも JavaScript は基本だけおさえといえて jQuery を勉強したほうが早いかもしれません。

そして、Ajax やアニメーション、ユーザのアクションによるブラウザ上の変化など、普段のブログ書きではなかなか実現できないようなことが実現出来ます。これは、表現力を高めることにより、ユーザの注目を集めて印象づけたり、また優れたユーザインタフェースに仕上げてもコンバージョン率（購買率）を上げるきっかけになるかもしれません。

現在、HTML5+CSS3 という大きなトレンドも動き出していますが、その前に今出来る表現を

ワーク

- ①これまでのワークを繰り返してみる
- ②jQueryのセレクターを指定するには(jQueryを使いこなすには)HTMLタグ、CSSタグの知識が必要です。サンプルをいじりながらも良いので、少しずつタグやスタイルシートを覚えながら、レイアウトデザイン出来るようになりましょう。
- ③「jQueryデザイン入門」など基本から学べる書籍があるので、そちらを参考にしてみてください。

<http://www.amazon.co.jp/dp/4048684116/>

12

jQuery応用 jQuery.autopagerプラグイン

jQueryには、その機能を拡張するプラグインがあります。さらにいろいろな表現や技術をカンタンに組み込むためのライブラリのようなものです。これでjQueryがさらに便利になり、組み合わせていくことで、短時間で大手サイトにあるような動作などを付け加えることが出来ます。

ここではTwitterのWebインタフェースに使われているオートページャーを実装しながらプラグインの使い方を学んでみたいと思います。

参考: jQuery.autopager

<http://lagoscript.org/jquery/autopager>

TwitterのWeb画面では、投稿記事を下まで読み進めてスクロールすると、自動的に次のページがその下側に付け加えられて読み進めることが出来ます。これは「次へ」リンクを踏まなくても、自動的にその直後のコンテンツを読み進めることができるので、ユーザのクリック回数を減らしたりする効果があります。

あまりECサイトやアフィリエイトサイト系で見かけることがない表現ですが、楽天市場商品検索を元にこのようなインタフェースを付けてみたいと思います。

ワーク

①jQuery.autopagerのプラグインページのデモを見てどのようなことができるか、確認する。

<http://lagoscript.org/jquery/autopager/demo>

②jQueryプラグインにどのようなものがあるか、調べてみる。

参考:[JS]jQueryのプラグイン100選 -2009年総集編

<http://coliss.com/articles/build-websites/operation/javascript/100-jquery-plugins-2009-best.html>

13

PHPで楽天市場商品検索

第3クールではJavaScriptが入っていますが、ここでPHPとJavaScriptの連携をしていくことになります。PHPで楽天市場検索を行い、jQuery (JavaScript) でjQuery.autopagerプラグインを使いAjaxとして、次のページのコンテンツをページ遷移せずに付け加えていきます。

まずは、PHPでの商品検索の基本部分を書き換えて自分なりのものにしましょう(デベロッパーID、アフィリエイトID、検索キーワード)。そして、PHPのみで実行した場合、どのような動作がするか次のページへのリンクをクリックしながら、操作感を体験してみてください。

ワーク

- ①templateフォルダからapiconfig.php,apifunc.php,autopagerakuten.php,jquery.autopager.jsの4ファイルをworkフォルダにコピーしてください。
- ②apiconfig.phpをテキストエディタで開き、楽天のアフィリエイトIDとデベロッパーID部分に記入します。
- ③jquery.autopager.jsを開き、楽天市場で100件以上ヒットしそうと思われるキーワードを設定します。
- ④検索結果ページの動作確認と次のページへのリンクが動作していることを確認してください。

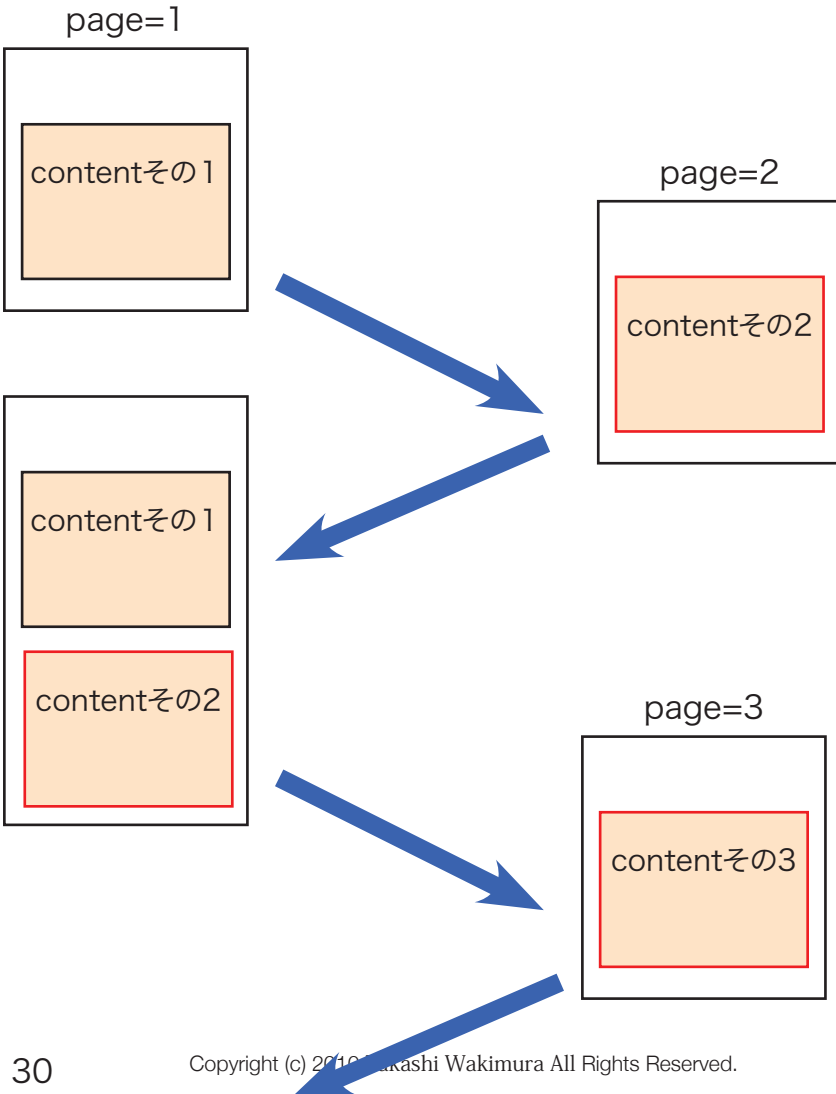
確認URL

<http://localhost/season2/work/autopagerakuten.php>

14

jQuery.autopagerプラグインと どのようにして組み合わせるか？

デフォルトではclass="content"部分にスクロールすると次のページのコンテンツ差し込んでいく形になります。



ワーク

①autopagerakuten.phpのソースを見て、どの部分が追加されているのか確認してみましょう。

確認URL

<http://localhost/season2/work/autopagerakuten.php>

memo

15

jQuery.autopagerプラグイン
の基本的な書式を確認する

jQuery.autopagerの基本的な書き方を確認しておきましょう。demoページのサンプルがシンプルです。

▽jQuery.autopagerデモより

```
<script type="text/javascript">  
  $(function() {  
    $.autopager();  
  });  
</script>
```

```
<div class="content">  
  <p>1ページ目のコンテンツ<br>Contents of page 1</p>  
</div>
```

```
<a href="/jquery/autopager/demo?page=2" rel="next">次のページ / Next</a>
```

まずはjQuery本体を読むこと、そして、このプラグインを読み込むこと、またこれらの記述を行うだけで、それが実現します。すでにworkフォルダに入っているautopagerakuten.phpにはclass="content"の記述とaタグおよびその属性rel="next"の記述は書きこんであります。

ワーク

①autopagerakuten.phpを開き1時間目でやったようにjQuery本体を読み込むscriptタグを書き込みます。

```
<script type="text/javascript" src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.4.3/jquery.min.js"></script>
```

②jQuery.autopagerプラグインを読み込むscriptタグを書き込みます。

```
<script type="text/javascript" src="jquery.autopager.js"></script>
```

③左記のオレンジ色部分のようなautopagerを呼び出すスクリプトを書き込みます。

```
<script type="text/javascript">
  $(function() {
    $.autopager();
  });
</script>
```

確認URL

<http://localhost/season2/work/autopagerakuten.php>

16

2時間目のまとめ

JavaScript、jQueryによるブラウザの表現力は著しく高まっていますが、サイトを制作する側にも使いやすくなってきています。jQueryは他のJavaScriptのライブラリの中でも最も人気があり、また膨大なプラグインにより、多機能な表現がすぐさまに実現できます。

jQuery使用に関する情報も多いのですが、一方でドキュメントを呼んでいてもよくわからないことがあります。英語が苦手な方であれば、海外のプラグイン情報に悪戦苦闘することでしょう。

2時間目では一旦、ひとつの例をとって、プラグインまで使うところまで走りましたが、一度どんなことができるかを知ってしまえば、もう一度基礎に立ち変えてJavaScriptやjQueryの基礎に立ち返り、またプラグインへの挑戦への反復練習で次第に身についていくものと思います。

スタイルシートやHTMLタグが不得意な方でもそれを理解することにより、短時間で効果のあるサイト作りが出来ることを実感したことでしょう。ぜひ、少しずつ一歩ずつサイトの実現させながら、スキルアップしていきましょう。

ワーク

①jQueryのサンプルやプラグイン集を見て、自分のサイトに取り入れたい表現・ギミックをピックアップしてみましょう。

17

3時間目課題

3時間目はこれまでのサンプルや自分のサイトなどをjQueryを使って改良してみましょう。また、APIのパラメータなども変えてみたりして、工夫してみましょう。

▽初心者向け

- ・レビューブログの写真をフェードインで洗練した感じで見せる
- ・フリーのおしゃれな(?)HTMLデザインテンプレートを探して、autopagerakuten.phpの機能を埋め込んで、実際にサイトとして使えるようにしてみる。
- ・Twitter風商品検索を画面レイアウトを調整してつくってみる
- ・jQueryプラグインを探して、やれそうなことにチャレンジしてみる

※検索窓をつけたい人はPHP経験者に聞いてみましょう(すぐ出来ませ)

▽PHP経験者向け(第1,2クール参加者向け)

- ・商品検索APIを楽天市場からリンクシェアのクロスオーバーサーチに変更してjQuery.autopagerを使ってオートページャーで商品検索できるようにしてみる
- ・商品検索にこだわらず、旅行系APIを使い緯度経度から近い順の宿表示をして、オートページャーでだんだん遠くなっていくインタフェースをつくってみる
- ・jQueryプラグインを探して、やってみたいことにチャレンジしてみる

ワーク

①Season2の期間中(次回のSeason3の勉強会まで)、AjaxやjQueryプラグインを使う練習をしておいて、コンテストに備える。
(表現力で差をつけるワーク)